

単元名：あなたにありがとう
～スマイル大作戦～

男子16名 女子15名 計31名

指導者 新宅 隆

単元について

- 本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間「ふしぎ発見！海田町」の学習で「地域・福祉」をテーマに探究的に地域の様子を調べたり、福祉についての体験活動を行ったりしている。その中で、意欲的に活動に取り組み、計画を立てて情報収集をする力を身に付けてきた。特に、地域がテーマの「海田東小魅力いっぱいツアー」では、情報収集した海田町の情報を整理分析し、ガイドツアーというかたちで保護者に対して発表し、主体的に表現することも経験している。

4年生の1学期には「もっと知ろう 海田の自然」で「環境」をテーマとして校区内を流れる瀬野川について探究的に学んだ。児童にとって身近な瀬野川周辺の自然を中心に主体的に学習活動を展開することができた。個々の児童が課題をもち、情報収集に向けて計画を立て、実際に川に足を運び、積極的に生物を探したり、事前に質問内容を考え、河川敷を歩いている人にインタビューをしたりして主体性を発揮している。その後、「瀬野川の自然マップ」や「瀬野川自然新聞」などに進んでまとめ、様々な角度で学んだことを表現することができた。

児童の意識調査では、「地域や自然の中で学習するなどの体験活動をしている」の問いに、約97%の児童が肯定的回答を行った。また、「自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます」では、約87%の児童が肯定的回答を行った。このことから、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現に至る探究的な学習の流れについては、ある程度経験ができていると言える一方、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫している」の項目に肯定的に回答した児童は67%で最も低い。学校生活の中でも、友だちや教師に自分の思いを伝えることが苦手な児童や、相手の思いを考えて行動することが難しい児童がいることも事実である。このことから、相手意識を明確にして集団思考をさせる場面では、分かりやすく伝えるような発表の工夫ができるように支援することが必要である。

- 本単元「あなたにありがとう～スマイル大作戦～」では、「つながり」をテーマに、校区内にある小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」との交流を行う。見学でそこに通われている高齢者の方とのかかわりを通して、相手の立場に立って高齢者の方に楽しんでもらえる活動を自分たちが企画し、交流会を開く。

この学習を通して、高齢者の方のために何ができるか自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする力や、他者と関わる喜びやあたたかさを感じ、自らの生活を見直す力を育てることをねらいとしている。また、国語科の「メモの取り方をくふうして聞こう」の学習と関わらせて、必要な情報を聞き落とさないようにインタビュー活動をすることで、積極的に情報を収集する力も身に付くと考えられる。

○課題発見力 **課題を発見・解決する力**

児童が小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」の存在を知り、訪れ、そこに通われている高齢者の方々に触れ合う中でやさしさやあたたかさ等に触れ、「もっとかかわりたい」「一緒に楽しい活動をしたい」という意欲を喚起できるようにしたい。導入場面では、3年生での「福祉」の活動を思い出し、バリアフリーや体の不自由な人のための街の中にある様々な工夫を想起する。介護施設の地図や写真を見ながら、海田東小学校の校区内に小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」という施設があることに気付かせることで興味付けをする。次に「海田じらく房」を訪問し、施設の中を見て回りながら説明を受けたり、通われている方と一緒に活動をしたりすることで、身近にあるこの施設に関心をもつことができる。施設や働く人の様子、施設を利用している方について、分かったことやもっと知りたいことを話し合うことで、『「海田じらく房」の方たちともっとかかわりたい」「自分たちが企画した活動で、楽しく交流したい」という願いを児童から引き出すようにしたい。そして、「海田じらく房」の訪問で分かったことや感じたこと、取材活動で集めた情報を関わらせながら自分たちで活動を企画し、「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くという単元のゴールを設定する。

○課題追究・情報活用能力 **深く考える力**

「海田じらく房」の方たちとの活動を考えていく中では、実際に「海田じらく房」の方たちとのふれ合いで得た実感を伴った経験と取材活動で集めた知識とを関連付けながら交流会にふさわしい活動を導き出す力が必要となる。本単元で育成したい思考の力は、経験と知識を関連付ける力や、交流会にふさわしい活動を高齢者の立場等から多面的に考える力である。

課題設定の場面では、4つの視点をもとに表を活用して多面的に考えさせる。「施設について」、「働く人のようす」、「お年寄りの方のようす」そして「その他」としてもっと知りたいことを中心に挙げることで、個々がこれからの学習における自分の課題を、どのように設定していけばいいのか、見通しをもたせる。また、実現できそうな活動については、「ボーン図」を用いてさらに分析し、活動のよいところと問題点を整理させる。提案した活動について「海田じらく房」の方たちの視点から、相手意識をもたせて考えさせる。

「海田じらく房」への訪問での経験と知識とを関連付けて思考する場面では、「座標軸」を用いる。その際、『「海田じらく房」の方たちと一緒にできるか』『「海田じらく房」の方たちが楽しめるか』の視点で、経験と知識を関連付けながら座標軸で整理し、交流会にふさわしい活動を考えていく。常に『「海田じらく房」の方たちにとって』という相手意識をもたせながら思考させていく。

グループで協働的に話し合うことで、友だち同士の意見を認め合いながら活動を進めさせたい。

○自己の生き方 **自己を理解する力**

課題設定の段階において、「海田じらく房」に訪問し、そこに通われている方たちとかかわり触れ合う中で感じたことや思ったことについて振り返る時間を十分にとり、人とかかわることで感じる喜びやあたたかさ、高齢者から伝わってくる穏やかさややさしさ等を児童の発言から引き出し、気付かせる。その後、学習の計画を児童と共に立て、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。ゴールに向けては、どんな交流会にしたいかをよく話し合わせる中で、「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらうことが大切だということに気付かせ、評価基準を児童と共に作成する。児童と評価基準の共有を図ることで、活動の一つ一つで常に相手意識をしっかりともちながら学習に取り組ませたい。振り返りの段階では、活動のビデオや写真などを見返しながら活動を振り返る。学びのモニタリングの時

間では、自己評価の振り返りを書いたワークシートを基に、単元の初めに立てたゴールの見通しの視点で、自らの学びや学び方を振り返る。そして、人とかかわることのよさについてあらためて気付かせていきたい。

○コミュニケーション能力・自己表現力

「海田じらく房」の方たちとの活動を考えていく中では、話し合いの集団の中で異なる意見が出ることも予想されるが、その意見を肯定的に捉え、受け入れる力を身に付けさせたい。自分の意見も相手の意見も視点が明確であれば公平に扱い考える場をもたせることが必要である。そのため、交流会での活動について話し合う場面では、活動についての話し合いに至るまでに得た個々の経験や知識を引き出し関連付けながら互いの意見のよい点、問題点の両面を考えることで、自分の意見も相手の意見も偏りなく分析し、公平に判断していくことの良さを実感させたい。

また、交流会本番では「海田じらく房」の方たちの様子に気付き、児童から声をかけることが必要になる。その力を付けるために、児童には施設への見学の際に職員の方たちがお年寄りとどのようにかかわりあっているかをしっかり確認したり、お年寄りが普段どんな様子で過ごしているかを把握することを意識させたりして、目的を明確にして施設への訪問を行わせる。

単元の目標及び内容について

- 「海田じらく房」での体験や、「海田じらく房」の方たちとの交流会を計画することを通して、自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする態度や、収集した情報を整理・分析したり、多面的に考えたりする力を育てる。
- 「海田じらく房」に通われている方たちとの交流を通して、人とかかわることの喜びやあたたかさを感じさせ、相手の立場に立ち思いやる心で他者と接する力を育てる。

〔学習方法に関すること〕

- ・「海田じらく房」の見学から、「海田じらく房」に通われている方たちのためにできることをしたいという思いをもち、よりよい交流に向けてどんなことができるか考える。 【課題発見力】
- ・「海田じらく房」に通われている方たちとの交流会に向けて収集した情報や体験をもとに、「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動を多面的に考える。 【課題追究・情報活用能力】

〔自分自身に関すること〕

- ・「海田じらく房」に通われている方たちとの交流を通して、人とかかわる喜びやあたたかさを感じる。 【自己の生き方】

〔他者や社会とのかかわりに関すること〕

- ・「海田じらく房」に通われている方たちが楽しめるよう、活動内容や声かけを工夫しながらお年寄りと交流する。 【コミュニケーション能力・自己表現力】

単元の評価規準

学習方法		自分自身	他者や社会とのかかわり
課題発見力	課題追究・ 情報活用能力	自己の生き方	コミュニケーション能力・自己 表現力
①「海田じらく房」での体験から活動目標を決め、目標達成に向けて『海田じらく房』の方たちが楽しめる交流会を開く」という課題を見つける。 ②課題解決に向けた活動計画を立てている。 【ESDの視点：批判】	①「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。 ②提案した活動を「海田じらく房」での体験や取材活動で得た知識を基に多面的に考察し、交流会にふさわしい活動を考えている。 【ESDの視点：多面】	①「海田じらく房」の方たちとの交流を通して、人とかかわる喜びやあたたかさに気付いている。 【ESDの視点：参加】	①グループの友達と意見交換しながら、異なる意見や考えを受け入れ、協働して課題を解決しようとしている。 【ESDの視点：協力】 ②「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえるよう、活動内容や声かけを工夫することができる。 【ESDの視点：関連】

指導と評価の計画

全 19 時間

次	時	学習内容	評 価				評価規準	評価方法
			課	情	自	コ		
一	1	課題の設定（４） ○ 3年までの学習を振り返り、「人にやさしい町」について考える。 ・海田町内の地図や施設の写真を見て、介護施設の存在を知る。 ・海田東小学校の近くに小規模多機能型居宅施設「海田じらく房」があることに気付く。	○				・3年までの学習を振り返り、「海田じらく房」に関心をもっている。【課①】	行動観察 ワークシート
	2 ・ 3	○「海田じらく房」へ訪問し、施設や人々の様子を知る。 ・「海田じらく房」へ訪問し、施設の説明を受けたり通われている方との交流を行ったりして施設内の様子を知る。			○	・「海田じらく房」へ訪問し、施設内の様子を知ったり通われている人と関わったりしている。【自①】	行動観察	
	4	○「海田じらく房」への訪問で分かったことや感じたことをまとめ、課題を設定し学習計画を立てる。 ・分かったことや感じたことをまとめ、「海田じらく房」の方たちと交流するという課題を設定する。 ・「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらう交流会を開くというゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。【本時】	○			・「海田じらく房」への訪問についてまとめ、課題やゴールの見通しを考えている。【課①②】	行動観察	

次	時	学習内容	評 価				評価方法	
			課	情	自	コ		
二	5	<p>情報の収集（４）</p> <p>○交流会での活動の計画を立てるために、「海田じらく房」を再度訪問するという計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」への訪問のまとめを振り返る中で、今ある情報だけでは交流会での活動を決定するのは難しいことに気付く。 ・交流会の活動を考えるために、「海田じらく房」を再度訪問する計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・情報の不十分さに気づき、２回目の「海田じらく房」への訪問の必要性に気づき、計画を立てている。【課②】 	行動観察 ワークシート
	6	<p>○「海田じらく房」で取材したい内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動にするために自分たちが知っておきたいことを付箋に書き出し整理しながら、取材の計画を立てる。 		○			<ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために必要な情報は何か考え、書き出している。【情①】 	行動観察 ワークシート
	7・8	<p>○必要な情報を得るために、２回目の「海田じらく房」への訪問を行う。必要に応じて、介護講座を受講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」に通われている方の様子を見たり職員の方に相談したりする中で、必要な情報を収集する。 		○			<ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。【情①】 	行動観察 ワークシート
	9	<p>整理・分析（３）</p> <p>○交流会にふさわしい活動を整理して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海田じらく房」の方たちと楽しめそうな活動を考え、付箋に書き出す。 ・「海田じらく房」への２度の訪問で分かったことと家庭や書籍などの取材活動で得た情報を関連付けながら、設定した視点に沿って活動を座標軸上に整理する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会でできそうな活動を考え、経験と知識を関係付けながら座標軸で整理している。【情②】 ・グループで意見交換しながら、協働して課題を解決しようとしている。【コ①】 	行動観察 ワークシート
	10	<p>○考えた複数の活動について多面的な視点から分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた活動について、グループごとに活動のよい点、問題点等を考える。 ・分析したシートを学級内で読み合い、交流会にふさわしい活動を考える。 		○			<ul style="list-style-type: none"> ・複数の活動を多面的な視点から分析している。【情②】 	行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評 価					
			課	情	自	コ	評価規準	評価方法
二	11	○分析結果を基に交流会で行う活動を決定する。 ・分析した結果を基に、もう一度視点に沿って座標軸に整理し、意見交換をしながら交流会で行う活動を決定する。		○		○	・分析した結果を基に座標軸に位置付け、交流会で行う活動を決めている。【情②】 ・互いの意見を受け入れながら話し合っている。【コ①】	行動観察 ワークシート
	12 ・ 13	まとめ・創造・表現（6） ○交流会に向けての準備を行う。 ・活動に必要な物や分担を考え、意見を出し合いながら準備の計画を立てる。 ・友だちと意見交換をしながら活動にふさわしい場所を選ぶ。				○	・交流会に必要なものを主体的に考えたり、分担や活動場所をお互いの意見を大切にしながら決めたりしている。【コ①】	行動観察
	14 ・ 15	○交流会に向けての準備を行う。 ・分担や準備の計画を基に、活動に必要な物の準備をする。 ・「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえるよう、ルールを設定する。				○	・「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえるように内容を工夫しながら準備をしている。【コ②】	行動観察
	16 ・ 17	○「海田じらく房」の方たちとの交流会を実施する。 ・グループごとに、自分たちが考えた工夫を取り入れた活動を行う。 ・ルールや声かけに気を配りながら、「海田じらく房」の方たちと交流する。				○	・「海田じらく房」の方たちを招き、楽しんでもらえるような心配りをしながら活動を行っている。【コ②】 ・人とかかわる喜びやあたたかさを感じながら交流をしている。【自①】	行動観察
三	18	振り返り（2） ○ビデオや写真などを見て交流の様子を思い出しながら、活動を振り返る。 ・当日の様子を記録したビデオを見返し、お互いの表情や動きなどから、「海田じらく房」の方たちの気持ちを確認する。その中で、交流会に参加された方の感想をおさめたビデオレターも視聴する。				○	・ビデオや写真、ビデオレターを視聴し、人とかかわることで感じたことについて振り返りをしている。【自①】	行動観察 ワークシート
	19	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びを振り返る。				○	・交流会を通して、自分の考え方の変容や、自らの学びや学び方を振り返っている。【自①】	ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 「海田じらく房」への訪問で分かったこと・感じたことをまとめ、課題を設定することができる。

(2) 本時の評価規準

- 「海田じらく房」への訪問についてまとめ、自分たちにできることは何かを考え、課題を設定し、ゴールの見通しをもっている。 【課題発見力】

(3) 本時の学習展開（4時間目／全19時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時までの学習を振り返る。 ○この写真は、どこでしたか。 ・「海田じらく房」です。 2 本時の学習課題を確認する。 めあて	◇前時に取材したメモや分かったこと をもとに今日の活動を確認する。	
「海田じらく房」について、分かったこと・感じたことを話し合い、これからの課題を立てよう。		
本時のゴールの見通し		
A：「海田じらく房」の訪問で分かったことをまとめ、自分たちにできることは何かを考え、課題を設定し、ゴールの見通しをもっている。 B：「海田じらく房」の訪問で分かったことをまとめ、課題を設定し、ゴールの見通しをもっている。		
3 グループで話し合う。 ○「海田じらく房」を訪問して、分かったことやもっと知りたいことについて話し合ひましょう。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> □思考の場の工夫 多面的にみる 「分かったこと・感じたこと」を施設、お年寄りの様子、働く人の様子、その他の四つに分類し、多面的に分析する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 施設 ・場所は蟹原で学校の近く。二階建てのきれいな建物だった。 ・ベッドが自動で動いていた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お年寄りの様子 ・お年寄りのみなさんは、体操をしていた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 働いている人の様子 ・係の人が食事を作っていた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> その他 ・お年寄りの方は、他にどんな遊びができるのかな。 </div>	◇施設、お年寄りの様子、働く人の様子、その他、それぞれの視点で話し合いをする。 ◆ボーン図への記入例を用意し参考にする。 ◇四つの視点の他にも「もっと知りたいこと」や「よく分からなかったこと」を付箋に書き出し、ボーン図に加えながら話し合いを進める。	☆「海田じらく房」の訪問を通して、分かったことや感じたことを分類し、多面的に考えている。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>4 全体で話し合う。</p> <p>○グループで話し合ったことを中心に、もっと知りたいことを出し合ひましょう。</p> <p>・お年寄りの方が、安全に遊べるゲームって、他にどんなのがあるのだろうか。</p> <p>・お年寄りの方と接するときは、どんなことに注意したらいいのだろう。</p> <p>・楽しかった。もっと交流がしたい。</p> <p>・もう一度「海田じらく房」へ行きたいな。一緒にする歌やゲームについて、アドバイスしてほしいです。</p> <p>・「海田じらく房」の方ともっと交流がしたいです。わけは、ちょっとの訪問の時間にもかかわらず、とても喜んでくれたからです。</p> <p>5 課題を設定し学習課題を立てる。</p> <p>○「海田じらく房」の方のために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p>・もっとお年寄りのことについて知りたいです。</p> <p>・お年寄りのことについて、どうやって接したらいいのか分からないので教えて欲しい。</p> <p>・訪問に行って、本当に喜んでくれたのだから、これからどんな交流ができるのか考えようよ。</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>○振り返りをしましょう。</p>	<p>◇もっと知りたいことが話し合いの中で見つかった場合は、黄色の付箋紙に書いて貼るようにする。</p> <p>◆意見が出にくい場合は、「海田じらく房」への訪問で見た、通われている方たちの様子を写真などで紹介し、見ることにより、「よく分からなかったところ」や「もっと知りたいことはないか」などを考えさせるようにする。</p> <p>◇交流会へと児童の意欲が続いていくような助言をする。</p> <p>◇最初に立てようとした計画表に付けたして完成させるようにする。</p> <p>◇児童が進んで活動内容を考え、みんなの意見をもとにして学習計画が立てられるようにする。</p> <p>◇お年寄りのことについてもっと知りたいということと、これからどんな交流ができるのかを考えることの二つの意見を課題として提示する。</p>	<p>◎「海田じらく房」への訪問についてまとめ、課題やゴールの見通しを考えている。〔課題発見力〕(行動観察・ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>・お年寄りとの接し方についてもっと学びたい。私たちの知りたいことについて教えてくれる人をさがそう。</p> <p>・今回の訪問がとても楽しかったので、もっといろいろな交流がしたいです。いつ、どんな交流ができるのかを話し合いたい。</p>		

(4) 板書計画

あなたにありがとう～スマイル大作戦～

めあて 「海田じらく房」について、分かったことを話し合い、これからの計画を立てよう。

今日の
ゴール

○分かったことをまとめ、課題づくりができた。
+◎何ができるかを考え、ゴールの見通しがもてた。

○2回目の「海田じらく房」訪問を計画しよう。
・「海田じらく房」の方と、もっと交流がしたいから

海田じらく房の見学で分かったこと
感じたこと

施設について	お年寄りのようす	自分たちにできること
海田町蟹原にある。 二階建て、きれい 宿泊部屋数(9) トイレ(3)床はバリアフリー、お風呂(1)道路に面している。 海田町では1つだけ	体操をしていた。一緒にゲームをした。 歌も歌って楽しかった。 お年寄りの方も喜んでくれた。 全員の時間割や車イスがある。	お年寄りとの接し方についてもっと学びたい。 ↓ 教えてくれる人をさがす。 お年寄りの方と計画的にいろいろな交流がしたい。 ↓ いつ、どんな交流ができるかを考える。
気をつけてお年寄りをみている。 5、6名の職員で25名の人をみる。 特別車はどんなときに使うのかな。 お風呂の設備はどうやって使うのか。 なぜ海田町でもっと作らないのか。	ほかにどんなお年寄りの方がいるのかな お年寄りが遊べるゲームやその方法 お年寄りに接する時、気をつけること お年寄りが喜ぶこと どのくらいの声で聞こえるの	
働く人のようす	その他	

<参考> 「学びのモニタリング」

あなたにありがとう
～スマイル大作戦～

四年 組 番 ()

① 「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動を考えるために必要な情報を集めることができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

② 「海田じらく房」の方たちの立場に立って、交流会にふさわしい活動を考えることができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

③ 交流会に向けての自分を振り返り、成長したことやこれからは生かしたいことを書きましよう。

交流会やじゅんぴのとき

交流会のとき